

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年9月25日(2024.9.25)

【公開番号】特開2023-56166(P2023-56166A)

【公開日】令和5年4月19日(2023.4.19)

【年通号数】公開公報(特許)2023-073

【出願番号】特願2021-165332(P2021-165332)

【国際特許分類】

H 0 4 W 8 8 / 0 8 (2 0 0 9 . 0 1)

H 0 4 B 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 4 B 1 0 / 2 5 7 5 (2 0 1 3 . 0 1)

H 0 4 J 1 4 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 4 L 2 7 / 2 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 W 8 8 / 0 8

H 0 4 B 1 / 0 4 Z

H 0 4 B 1 0 / 2 5 7 5 1 2 0

H 0 4 J 1 4 / 0 2

H 0 4 L 2 7 / 2 6 3 1 0

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月13日(2024.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

直交アウトフェーディング信号生成器111は、直交無線信号I及びQから、第1の1組の直交アウトフェーディング信号 I_1 及び Q_1 と、第2の1組の直交アウトフェーディング信号 I_2 及び Q_2 とを生成する。

30

ここで、直交アウトフェーディング信号 I_1 及び Q_1 は、直交無線信号I及びQを位相の異なる2つの信号に分離した信号であり、直交アウトフェーディング信号 I_2 及び Q_2 は、直交無線信号I及びQを位相の異なる2つの信号に分離した信号である。

また、直交アウトフェーディング信号 I_1 の位相と Q_1 の位相との差、及び、直交アウトフェーディング信号 I_2 の位相と Q_2 の位相との差は、いずれも90度である。

40

50